

在シドニー総領事通信

第 14 回 日本人にとっての ANZAC デー

令和 2 年（2020 年）5 月 1 日

オーストラリアは、新型コロナウイルスの新規症例を大幅に減少させることに成功しています。今は、各種規制措置の緩和に向けて、検査数の増加や濃厚接触者追跡調査（contact tracing）のためのアプリ（COVIDSafe app）の導入など、事前準備に取り組んでいるところです。私も早速アプリをダウンロードしました。www.covidsafe.gov.au

それでも、大規模行事はまだ開催できる状況にありません。オーストラリアでは毎年 4 月 25 日を、軍関係者の貢献と犠牲に敬意を表するために「ANZAC デー」の祝日として、全国各地で盛大な式典やパレードを行うことが恒例となっています。しかし今年の ANZAC デーは、代表者の数名が出席する各地の式典を生放送・動画配信し、それを国民が自宅で視聴して参加する「ANZAC AT HOME (#ANZACatHome)」という異例の形式となりました。

私も、この ANZAC デーに行われた一連の式典に自宅から参加しました。日本はオーストラリアと戦争の歴史があります。日本人は、この ANZAC デーをどう受けとめ、どう関われば良いのでしょうか。両国の歴史を振り返りながら、一緒に考えていきたいと思えます。



ANZAC デー全国追悼式典で献花するモリソン首相夫妻
(2020年4月25日, ABC ニュース)

ANZAC デーは、オーストラリア建国後間もない時期に参戦した第一次世界大戦で、豪 NZ 軍団 (Australia and New Zealand Army Corps) が 1915 年 4 月 25 日にトルコでガリポリ上陸作戦を行ったことに由来します。この作戦やその後の様々な戦闘で、多数のオーストラリア兵士が命を落としました。その後、この日は全ての豪軍関係者の貢献と犠牲に敬意を表する日となりました。

モリソン首相は早朝に行われた全国追悼式典で、75 年前のカーティン豪首相 (当時) の演説を引用しつつ、ANZAC 兵士の松明 (たいまつ / torch) はその後代々のオーストラリア人に受け継がれており、我々は今この松明を改めて高く掲げる必要があると訴えていました。同日のオーストラリアン紙にも寄稿し、今の新型コロナウイルスの苦難も、自分達は耐えて乗り越えられると力強く述べていました。

一連の行事での様々な演説を聞いて、ANZAC デーはオーストラリア国民にとって、自国の苦難と克服の歴史を振り返り、そこから未来に向けて力を得る機会になっていると感じました。日本国民にとっては、8 月 15 日の終戦記念日が、日本の過去を振り返り将来を考える大切な機会になっています。意味合いは異なりますが、いずれもそれぞれの国民が自国の歴史の中で自分の位置付けを考える重要な日です。



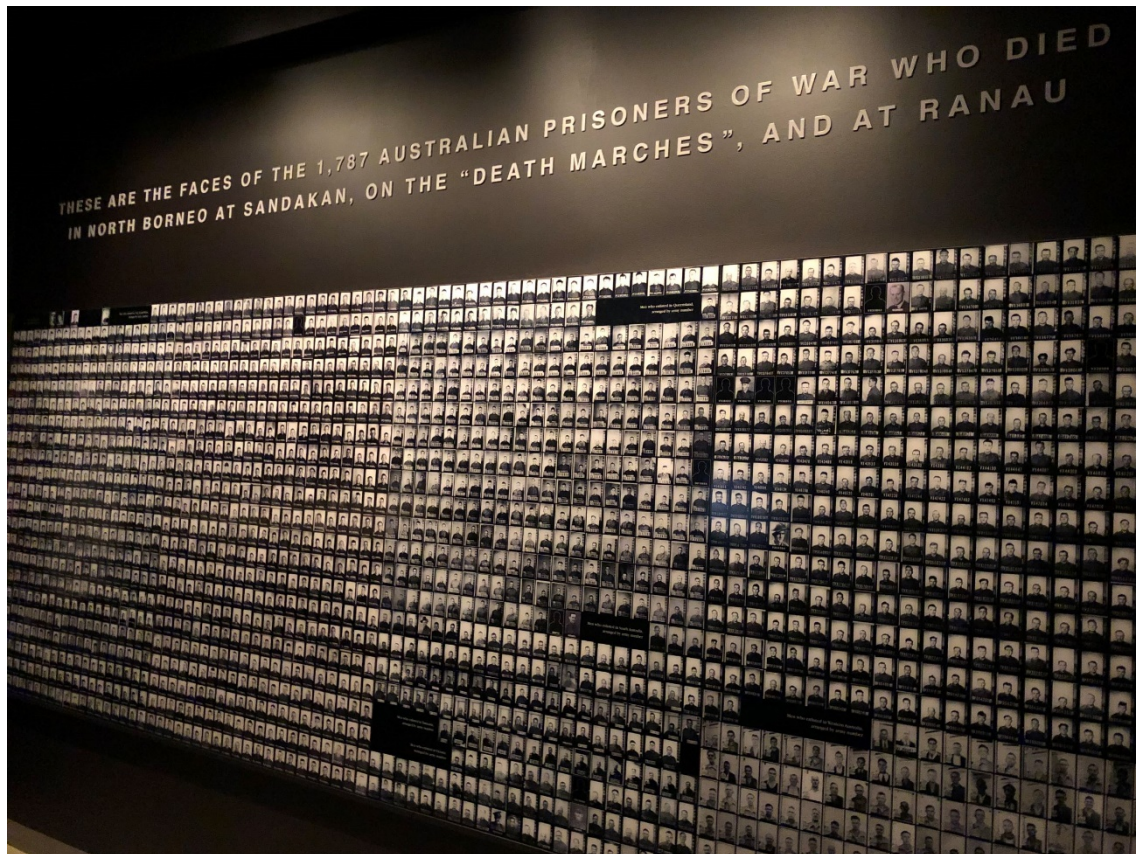
AUSTRALIAN WAR MEMORIAL

ART13569

1914年にインド洋で ANZAC 部隊を護衛する
日本海軍軍艦「伊吹」と豪軍巡洋艦「メルボルン」
(オーストラリア戦争記念館 HP)

実は、第一次大戦に赴く ANZAC 部隊を載せた最初の船団を、当時友軍であった旧日本海軍の軍艦「伊吹」が護衛しています。その ANZAC 部隊の一部が、ガリポリ半島上陸作戦に参加したのです。この護衛の歴史はその後も語り継がれ、「伊吹」の模型や護衛を描いた絵画が豪側に寄贈されて、今もオーストラリア戦争記念館に所蔵されています。

この船団が西オーストラリア州のアルバニーを出発してから 100 周年に当たる 2014 年 11 月 1 日に、同地で記念式典が開催されました。日本からは中根外務大臣政務官（当時）が出席し、海上自衛隊は護衛艦「きりさめ」を派遣しました。式典では当時のアボット豪首相及びキー-NZ 首相から中根大臣政務官に対して、式典出席と護衛艦派遣への謝意が示されました。



オーストラリア戦争記念館のサンダカン死の行進の展示

第二次大戦では、日本はオーストラリアの敵国となりました。この歴史は、今もオーストラリアで語られています。

今年の全国追悼式典でのモリソン首相演説も、ニューギニア戦線、サンダカン死の行進、珊瑚海海戦の魚雷攻撃の歴史に言及しています。同日のオーストラリアン紙への寄稿は、泰緬鉄道、サンダカン死の行進、そしてニューギニアのココダの歴史に触れていました。また、私がZoomで参加したシドニー・ロータリークラブの式典で、参加者の一人は、自分の父親は泰緬鉄道の戦争捕虜であり、そこで生き延びることができたので今の自分が存在すると話していました。

私自身、着任直後の昨年11月にオーストラリア戦争記念館を訪問し、日豪の戦争の歴史を振り返りました。サンダカン死の行進の展示では、1945年のボルネオ島でのこの行進で、多数の英豪戦争捕虜が死亡し、生き延びたのは6名のみと記され、犠牲者の写真が壁一面に掲げられていました。



安倍総理のオーストラリア議会両院総会での演説
(2014年7月8日、首相官邸HP)

戦後、日豪両国は幅広い関係者の善意と努力で、和解への歩みを進めました。時代は下り、2014年7月に安倍総理はオーストラリア議会両院総会で演説を行いました。そこで、総理はこう述べました。

「私たちの父や、祖父の時代に、ココダがあり、サンダカンがありました。何人の、将来あるオーストラリアの若者が命を落としたか。生き残った人々が、戦後長く、苦痛の記憶を抱え、どれほど苦しんだか。歴史の暴戾を前に、私は語るべき言葉を持ちません。亡くなった、多くの御霊に対し、私はここに、日本国と、日本国民を代表し、心中からなる、哀悼の誠を捧げます。」

そして、オーストラリアの石炭や鉄鉱石や天然ガスで戦後日本産業の復興が可能となった歴史を紹介し、更に日豪EPAやTPP、RCEPの取組、安全保障協力や自由で開かれたインド太平洋のための協力を進めることで、日豪は「特別な関係」へ歴史的脱皮を遂げたと述べています。



オーストラリア戦争記念館の第一次大戦追悼記念日（Remembrance Day）の
追悼式典（Last Post Ceremony）（2019年11月11日）

今、日本人がオーストラリア人と関わり、新たな取組を進める際には、このような日豪間の歴史を振り返り、どのように和解が進められたかを理解することで、未来に向けての一層強固な信頼関係を構築できるのではないかと考えます。

私は、昨年11月にキャンベラのオーストラリア戦争記念館を訪問した際、第一次大戦追悼記念日（Remembrance Day）の追悼式典（Last Post Ceremony）で献花をさせていただきました。日豪の歴史の中で犠牲となった人たちのことを忘れないこと（We will remember them）は、相手に敬意を払い、自らの姿勢を正すことにつながると思います。

ANZACデーに際して、私も日本人の一人として、以上のような歴史に思いを致しました。そして、将来に向けてオーストラリアの人たちと様々な協力を進めていきたいとの決意を新たにしました。



NSW 州追悼式典で演説するビーズリー NSW 州総督
(2020 年 4 月 25 日, ABC ニュース)

私たちの目下の課題は新型コロナウイルスです。危機に直面して、世界各国がそれぞれ国のあり方を問われています。

NSW 州のビーズリー総督は NSW 州追悼式典の演説で、感染症は敵であり、戦時と同様に国民の心身の健康が最大の課題である、そのような中でオーストラリアはお互い助け合う共同体意識 (community spirit) を持たなければならないと強調していました。オーストラリアが新型コロナウイルス対策に成果を上げている一つの理由は、ANZAC デーのような機会を通じて、国民の共同体意識を高めているからではないかと思えます。

日本も今がまさに正念場です。現在置かれた状況の下で、日本が直面している困難を乗り越えて成果を上げるよう、私も当地で在留邦人の皆様をお支えしながら、日々努力する所存です。当館の業務も影響を受け、領事窓口時間を午前のみに変更しておりますが、電話でのご案内は今までどおり行っています。お気づきの点などありましたらお気軽にご連絡いただければ幸いです。

オーストラリア観光局・ANZAC デー

<https://www.australia.com/ja-jp/events/arts-culture-and-music/anzac-day.html>

オーストラリア戦争記念館・ANZAC デー及び ANZAC AT HOME 2020 (英語)

<https://www.awm.gov.au/commemoration/anzac-day>

<https://www.awm.gov.au/AnzacAtHome/>

ANZAC デー全国追悼式典におけるモリソン首相演説 (英語)

<https://www.pm.gov.au/media/address-anzac-day-commemorative-service>

日本海軍戦艦伊吹の絵と模型 (オーストラリア戦争記念館所蔵)

<https://www.awm.gov.au/collection/C174620>

<https://www.awm.gov.au/collection/C111976>

安倍総理のオーストラリア連邦議会両院総会での演説 (2014 年 7 月 8 日)

https://www.kantei.go.jp/jp/96_abe/statement/2014/0708australia_enzetsu.html

ANZAC デーNSW 州追悼式典におけるビーズリーNSW 州総督演説 (英語)

<https://www.governor.nsw.gov.au/governor/selected-speeches-and-messages/show/1072>

全豪日本クラブ (JCA) 記念史編集委員会『オーストラリアの日本人ー 1 世紀をこえる日本人の足跡』(全豪日本クラブ (JCA), 1998 年)

Neville Meaney, *Towards a new vision: Australia and Japan across time* (2nd Edition) (UNSW Press, 2007)

(以上)